



心身障害者通所支援施設「リサイクルショップ」は請願
現在地での存続を求める に関する

紹介議員

並木 敏恵

(署名又は記名押印)

大野 比子

今尾 安徳

木下 三枝子

件 名

心身障害者通所支援施設「リサイクルショップ」は現在地での存続を求める
に関する請願

要 旨

- 1、 施設を利用している当事者と家族に事前相談することなく、移転・統合を前提とした形で提案されたことは、納得ができません。
- 2、 リサイクルショップは自力通所が基本であるにもかかわらず、統合先は現地よりかなり遠くにあり、とうてい自力通所は不可能です。施設利用するについての大前提である「通えない場所」への移転はありません。

理 由

令和6年12月6日の初回説明では「リサイクルショップの老朽化と地震対策のため」が移転の理由でした。しかし令和7年3月議会で市の提案、また10月10日の市との懇談会での回答などで浮き彫りになったことは、移転・統合は「公共施設マネジメント計画」に添って進めているというものでした。

老朽化・地震対策は必要ですが、^{目的}公共施設見直しの計画なら利用している私たちに寄り添ったものではありません。私たちが望むことはパブリックコメントにもあるように、子どもたちが通いなれた居場所で、地域の方たちに見守られながら、社会の一員として生きていかれることです。また障害の特性として、環境の変化はパニックを起し、自傷他傷などのリスクを伴います。私たち当事者家族にとってパニック回避は日々の重要課題であることをご理解いただきたいのです。さらなる問題は自力通所ができなくなります。送迎の保障は未だにありません。

パブリックコメントでも移転反対が圧倒的です。市民がこれほど反対しているのにもかかわらず、そこに寄り添わずに計画をすすめる市政で本当にいいのでしょうか。よって上記の通り請願いたします。

地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出いたします。

2026年2月9日

請願者 住所 春日部市中央八丁目2-2 A-205
氏名 藤井久之



春日部市議会議長 小久保 博史 あて